論理的に書く ―― 小論文①の1

★「校内でデジタルを自由に使用すること」について、メリットとデメリットを考えよう。

メリット	◎ ◎ ◎
デメリット	× × ×

→仲間の意見を、書き加えよう。

Ⅰ 主張・・・私は、「校内でデジタルを自由に使用すること」に【　　】だ。

Ⅱ 根拠・・・

★一五〇字程度で、小論文を書こう。

論理的に書く ―― 小論文①の2

★AIが挙げた「校内でデジタルを自由に使用すること」のメリットとデメリット。

メリット（20個）

1. **情報検索が容易**：授業中や休み時間にすぐ調べ物ができる。
2. **学習アプリの活用**：英単語や数学などの学習アプリを利用可能。
3. **デジタル教材の閲覧**：電子書籍やPDF教材をスマホで確認できる。
4. **スケジュール管理**：カレンダーやリマインダーで課題や試験を管理。
5. **コミュニケーションの円滑化**：クラスメイトや先生との連絡が簡単。
6. **緊急時の連絡手段**：災害や体調不良時にすぐ連絡できる。
7. **オンライン授業対応**：急なオンライン授業にも対応可能。
8. **写真・動画で記録**：授業内容や板書を撮影して復習に活用。
9. **辞書機能**：外国語学習に便利。
10. **音声録音**：授業や説明を録音して復習できる。
11. **プレゼン準備**：資料作成や確認がスマホで可能。
12. **学習モチベーション向上**：学習系SNSや動画で刺激を受ける。
13. **交通情報確認**：通学時の電車遅延情報をすぐ確認。
14. **健康管理アプリ**：睡眠や運動の記録ができる。
15. **キャッシュレス決済**：学食や購買でスムーズに支払い。
16. **ニュース閲覧**：最新情報を簡単に取得。
17. **クラウド共有**：課題や資料をクラウドで共有。
18. **翻訳機能**：外国語の文章を即翻訳。
19. **動画学習**：YouTubeなどで授業補足動画を視聴。
20. **自己表現の場**：SNSで作品や活動を発信。

デメリット（20個）

1. **集中力低下**：授業中にSNSやゲームで注意散漫。
2. **依存症のリスク**：スマホ使用時間が過剰になる。
3. **睡眠不足**：夜遅くまでスマホを使う習慣がつく。
4. **いじめやトラブル**：SNSでの誹謗中傷や仲間外れ。
5. **個人情報漏洩**：不用意な投稿で情報が流出。
6. **学力低下**：スマホに気を取られ勉強時間が減る。
7. **視力低下**：長時間の画面視聴で目に負担。
8. **運動不足**：スマホ使用で外遊びや運動が減る。
9. **課金トラブル**：ゲームやアプリで高額課金。
10. **詐欺被害**：怪しいサイトやメッセージで被害。
11. **電池切れ問題**：緊急時に使えない可能性。
12. **授業妨害**：通知音や着信で授業が中断。
13. **依存による精神不安**：SNSの「いいね」依存。
14. **情報過多**：必要以上の情報で混乱。
15. **不適切なコンテンツ閲覧**：有害サイトへのアクセス。
16. **対面コミュニケーション減少**：友達との会話が減る。
17. **盗難・紛失リスク**：スマホを失くすと大きな損失。
18. **ネットいじめ拡散**：問題が広がりやすい。
19. **プライバシー侵害**：写真や動画の無断撮影。
20. **学校の秩序乱れ**：ルール違反が増える。

★自分たちの意見になかったものに線を引こう。

Ⅲ 対立する主張・・・「校内でデジタルを自由に使用すること」に【　　】だ。

対立する主張の根拠（メリット or デメリット）を書き出そう。

Ⅳ 対立する主張に反論するための根拠を調べて書こう。

【自己評価】

◆多角的な視点・・・ 自分の力でメリット・デメリットを（A：十個以上　B：六個以上　C：六個未満）書くことができた。

◆論理的に考える・・・□の中を（A：全て　B：三つ以上　C：三つ未満）埋めることができた。

◆主体性・・・小論文を（A：最後の行まで　B：六行以上　C：六行以下）書くことができた。

論理的に書く ―― 小論文①の3

★「小論文①の2」を使って、反論を想定した小論文の構成を書こう。

自分の主張	
Ⅰ 主張	Ⅱ 根拠
私は、校内でデジタルを自由に使用することに【　　】だ。	

対立する主張 Ⅲ	
対立する主張	想定される根拠
校内でデジタルを自由に使用することに【　　】だ。	

Ⅳ 対立する主張への反論

【自己評価】

◆論理的に考える…構成Ⅰ～Ⅳを（A：全て　B：二つ以上　C：一つ以上）埋めることができた。

◆主体性…小論文を（A：二三行以上　B：二〇行字以上　C：二〇行以下）書くことができた。

【ペアの感想】

★「小論文①の3」を使って、反論を想定した小論文を書こう。

450　400　300　200